

◆開催概要

日時：11月11日（金） 18:30～21:00

場所：赤前コミュニティ消防センター 出席者：検討会メンバー14名

まちづくりの方針について出た主な意見

まちづくりの方針については、2班で意見を出し合った結果、大きく以下の4つの方針に意見の集約、共有が図られました。

災害に強い安全、安心のまち

災害に強いまち

- ・高い若しくは2重の防潮堤があればよい
- ・山を削り、土を盛り上げ高台を確保
- ・安全安心が地域の住民はもとより周辺の人たちも感じられるまち
- ・津波防御のため道路を多重防御とし、津軽石川に津波の勢いを誘導する

安全に避難できる道路

- ・県道や市道のかさ上げによる多重防御
- ・市道の拡充によるバス路線の整備
- ・県道、市道から避難道路へのアプローチ
- ・袋小路の解消
- ・救援車両も通れる道路
- ・避難道路の整備拡充
- ・安全な避難道路網が大切
- ・盛土で道路を整備してほしい
- ・県道の代わりに安全なルート確保、嵩上げ
- ・県道、市道の整備拡充
- ・現在の市道を拡幅し道路網を整備
- ・道路は冬の凍結が危険
- ・安全に逃げられる道路
- ・拡張や変更も含む道路の整備

子どもからお年寄りまで住みやすいまち

- ・子どもたち、若い世代と高齢者が助け合えるまち
- ・高齢者も移動しやすいようにバス停を近くに
- ・子ども達が安全に安心して歩ける通学路
- ・住宅も商店も赤前小を中心に
- ・赤前小を中心としたまちづくり
- ・近所付き合いが楽しくできるまち
- ・「おはよごぜんす」、「おやすめんせ」の言えるまち
- ・赤前小が存続するまち
- ・お年寄りが安心して暮らすまち

産業の盛んな活気のあるまち

- ・企業が進出しやすい環境整備
- ・赤前に雇用の場をたくさん作ってほしい
- ・漁港を早期復元整備してほしい
- ・地域の意欲ある農業者に農地を貸与し農業者の育成
- ・企業の立地するまち
- ・学校、企業などを中心としたまちづくり
- ・産業誘致にも役立つ道路整備

山、川、海の自然をいかしたまち

海・河川・水辺の活用

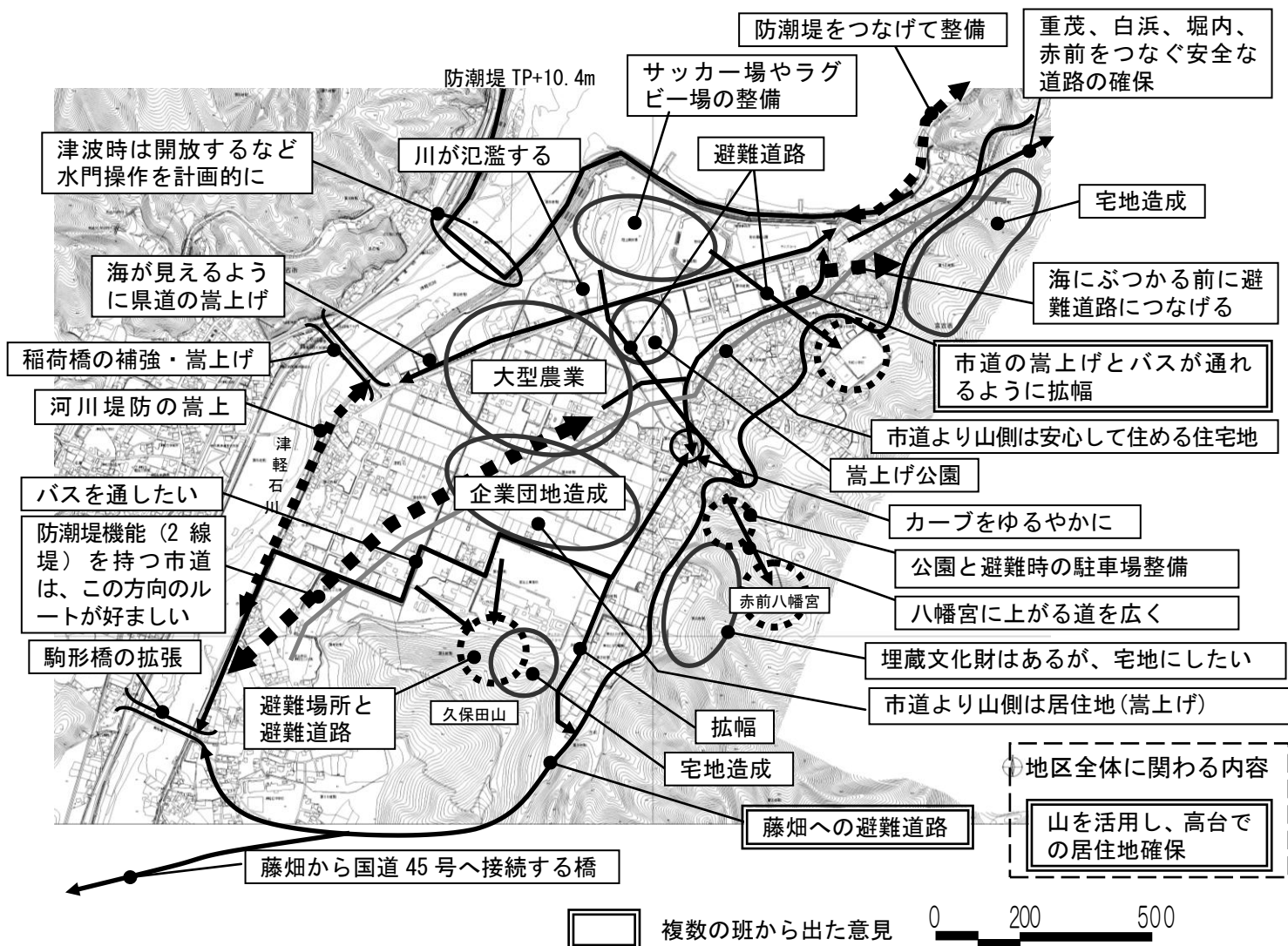
- ・海が中心に、海を大切にしたい
- ・河川、海岸線の整備と公園的利用
- ・湾奥部の干潟を保全、利用

公園や農地など緑の多いまち

- ・農業が大事
- ・大型農業
- ・遊休農地で田植え体験
- ・運動公園の再利用で市民が憩うまち
- ・高台にも公園を作ってほしい

用地別の土地利用の方針について出た主な意見

用地別の土地利用の方針について、2班で意見を出し合った結果、以下の図に示すような意見が挙げられました。特に、道路を嵩上げし防潮堤機能を持たせることや安全な避難場所・避難ルート、低地部での土地利用の区分、高台での住宅地確保については2班とも意見がでています。



今回の検討会で共有できた方針

検討会で確認し、共有できた方針を整理すると以下ようになります。これらの方針をもとに、次回以降の検討で議論を深めていきます。

◆地区復興まちづくりの方針について

- ・災害に強い安全、安心のまち
- ・子どもからお年寄りまで住みやすいまち
- ・産業の盛んな活気のあるまち
- ・山、川、海の自然をいかしたまち

◆土地利用の方針について

- ・危険な区域の住宅地は高台での確保を考える。
- ・低地部では、農地、工業地、住宅地などを集約、再配置を考える。
- ・津軽石川にかかる橋の整備、拡充を考える。
- ・防潮堤機能(2線堤)を持つ道路の整備、山側に重茂から藤畑に抜ける避難道路の整備を考える。
- ・既存の市道や県道の拡幅、嵩上げにより、安全でバスが通る便利な道路網を考える。

